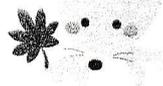


# あきやま子どもクリニックニュース2020年11月号

9月中旬から1か月間、政府広報のテレビCMに協力しました。CMをみたお子さんや保護者の方々より「テレビみました！」と声をかけていただきました。お恥ずかしい限りです。ただ、私はテレビを1度も見るできませんでした。CMのようにコロナ禍で受診を控えずに、必要に応じて受診をお願いします。



## 院長より

今野敏という作家のシリーズに「任侠学園」「任侠病院」「任侠浴場」「任侠書房」「任侠シネマ」があります。読んだことはおありでしょうか。

やくざの親分がこれらの施設を立て直す話です。その方法は、一貫して掃除から始まるのです。子分に施設を掃除をさせ、施設をピカピカにします。すると、人々が次第に変わっていき、再生されていく話です。

私はこのシリーズがとても好きです。自分の周囲をきれいにすることは、ひいてはその場所を大切にすること、愛するという思いにつながっていくのではないのでしょうか。

そろそろ年末、家族でお掃除はいかがでしょうか。



## 最近の流行っている病気

乳児から学童に至るまで、嘔吐・下痢症が流行しています。また発熱と咳がでる風邪もあります。

感染症として、突発性発疹、水痘、溶連菌感染症、おたふくかぜがみられています。

## 訪問看護ステーション

訪問看護は、在宅で生活する子ども達のケアを行います。その子によって必要なケアは様々ですが、入浴介助が主なことが多いです。子ども達はみんな発達していくので、入浴の介助の方法も日々変わってきます。ペーパーバスやシャワーチェアの変更など、より体が安定する方法、リラックスできる方法をご家族と模索しながら行っています。ちょっとした工夫でもより快適に楽しい時間が出ることもあるので、今後も考えて行きたいですね。

(文責 梅田可愛)

## Mama&Baby

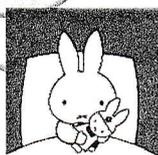
10月1日より、ママベビー2が開室しました。宿泊型ですので、親子が夜も過ごします。利用した方々から、ゆっくりできたとの感想がありました。改めて、夜間がどんなに心細く不安であったのか、と思いました。張り詰めた生活を、ほんの少しでも気を緩めて過ごし、疲れをとり、そして、明日からの育児の原動力にしていだければと思います。

(文責 秋山千枝子)

## 病児保育室便り

病児保育室は異年齢で過ごすことが多いです。大きいお子さんが小さいお子さんのお世話をしたり、小さいお子さんが大きいお子さんの姿を見て真似をしたりしています。そんなかわいいい関わりのエピソード紹介です。先日、4歳の男の子と5歳の男の子と1歳の男の子3人の日に、4歳と5歳のお子さんがぬりえを始めると、それまで1人で遊んでいた1歳のお子さんがそばに行き、じっと見ているので「やる？」とスタッフが声をかけると「うん！」と頷き、椅子に座って一緒にお絵かきをしていました。その時の顔がとても嬉しそうな笑顔でした。

(文責 千葉美香)



インフルエンザ予防接種  
接種は10月から開始しています  
予約については、ホームページをご覧ください。



## 今月の代診と休診

6日(金)	午前診療	宗像先生
11日(水)	午後診療	宗像先生
14日(土)	午前診療	宗像先生
17日(火)	午後診療	宗像先生



木曜日の早朝・午前診療は濱野先生です。  
木曜日の午後診療は宗像先生です。